

**OLYMPUS**

True to Life

# Olympus Vision

2024年3月期 中間株主通信

2023年4月1日～2023年9月30日

証券コード:7733

取締役 代表執行役 社長兼CEO  
(最高経営責任者)

シュテファン・カウフマン



患者さんの安全を最優先に考え、革新的な製品やソリューション、人材などのあらゆる面で評価されるグローバル・メドテックカンパニーを目指します。”

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

オリンパスグループは、「世界の人々の健康と安心、心の豊かさの実現」を経営理念に掲げ、医療従事者の皆さまとともに、病変の早期発見・診断・低侵襲治療に役立つ最適なソリューションおよびサービスの提供を通じ、医療水準の向上に注力しています。

この度、2023年5月には、新たな経営戦略「変革のその先へ ～グローバル・メドテックカンパニーとしての成長～」を公表しました。この新経営戦略に基づき、事業の継続的な成長と、真のグローバル・メドテックカンパニーになることを目指してまいります。

## CEOメッセージ

### 2024年3月期第2四半期累計実績と通期業績見通し

当第2四半期累計期間は、地域別では全分野で成長したアジア・オセアニア、セグメント別では医療サービス、消化器科処置具が好調に推移しました。医療分野では、第2四半期および累計としても過去最高の売上高となり、連結で5%の増収となりました。一方、将来の成長や品質保証・法規制対応(QARA)をはじめとする事業運営基盤強化などに伴う人件費の増加、効率性向上のためのプロジェクト費用に加え、Veran Medical Technologies社関連の損失計上などにより減益となりました。2023年4月に非継続事業(エビデント)の全株式の譲渡が完了したことに伴い、本株式譲渡に係る

譲渡益を当期第1四半期に計上し、継続事業と非継続事業を合わせた当期利益は過去最高の2,167億円でした。また、通期の売上高は前期比9%増の9,580億円、その他損益を除外した調整後営業利益は前期比1%減の1,745億円となる見通しです。円安の追い風はあるものの、中国での反腐敗運動による入札活動の遅れや、品質対応、部材不足に伴う供給遅延などの社内外のさまざまな影響を織り込んでいます。なお、2024年3月期における自己株式の取得価額の総額は1,800億円を予定しています。引き続き、患者さんの安全と品質に最も重点を置いた業界最高水準のグローバル・メドテックカンパニーへの変革とともに、株主価値の持続的な向上、資本効率の改善を目指してまいります。

### 2024年3月期 第2四半期累計実績および通期業績見通し 連結業績

		2023年3月期 第2四半期 累計実績	2024年3月期 第2四半期 累計実績	前年同期比	2024年3月期 通期見通し
継続事業	売上高	4,171億円	4,366億円	+5%	9,580億円
	営業利益	936億円	48億円	△95%	1,000億円
	調整後営業利益	794億円	666億円	△16%	1,745億円
	継続事業からの 四半期利益	695億円	△115億円	△810億円	610億円
継続事業 + 非継続事業	親会社の所有者に 帰属する 四半期損益 <sup>1</sup>	668億円	2,163億円	+224%	2,890億円

<sup>1</sup> 2023年3月期第2四半期より科学事業を非継続事業に分類しています。非継続事業からの利益は継続事業と区分し、「売上高」から「継続事業からの当期利益」までは継続事業の金額を表示しています。

**患者さんの安全と持続可能性を追求**

当社は、2019年の経営戦略で掲げた調整後営業利益率20%超というマイルストーンを2023年3月期に達成し、今年5月には新経営戦略を公表、医療機器専門企業としてさらなる前進を続けています。しかしながら、米国食品医薬品局

(FDA:Food and Drug Administration)から3通の警告書を受領し、規制当局やステークホルダーの期待に応えるために、グローバル・メドテックカンパニーとして相応しい企業文化、業務プロセス、システム構築等に向け抜本的な改善に取り組んでいます。患者さんの安全を第一に考え、今後2、3年の間に品質保証・法規制

対応(QARA)の改善を継続して行っています。FDAからの指摘事項への対応はこれまで予定通り進捗していますが、それだけにとどまらず、警告書を受領するに至った根本原因を調査し、強化が必要な分野に対処するために、総合的な変革プログラムを開始しました。組織全体でこれまでよりも一層、患者さんの安全と品質

に最も重点を置き、業界最高水準のグローバル・メドテックカンパニーに成長するために、ケイパビリティ(能力)の開発に加え、企業文化の改革も推し進めてまいります。QARAの変革を機会と捉え、オリンパスの潜在能力を最大限に引き出すとともに、強固な経営基盤を構築し、持続的な成長の実現につなげていきます。

**新経営戦略 ~グローバル・メドテックカンパニーとしての成長~**

**基本的な指針**

患者さんの安全と持続可能性 	<b>1</b> 米国食品医薬品局 (FDA) に対するコミットメントを遂行し、各国規制当局との信頼関係を構築
	<b>2</b> 健やかな組織文化とESGを推進
成長のためのイノベーション 	<b>3</b> オリンパスブランドの強化、顧客体験価値向上
	<b>4</b> 戦略的なイノベーション・買収を通じた事業の成長
生産性の向上 	<b>5</b> 患者さんの安全と製品の品質を重視したパフォーマンスの高い組織を構築
	<b>6</b> 効率的で無駄のない経営

**2024年3月期~2026年3月期財務ガイダンス**

安定的な価値創造と競争力のある成長を実現

 売上高成長率*1	約 <b>5%</b> CAGR from FY2023
 EPS成長率*2	約 <b>8%</b> CAGR from FY2023
 営業利益率*2	約 <b>20%</b>

 [新経営戦略 >](#)

[https://www.olympus.co.jp/ir/data/pdf/08\\_Company%20Strategy\\_Q4FY2023\\_jp.pdf](https://www.olympus.co.jp/ir/data/pdf/08_Company%20Strategy_Q4FY2023_jp.pdf)


\*1 為替前提を固定

\*2 特殊要因調整後  
 ・その他の収益および費用等を除く  
 ・為替レート変動による影響は調整せず。実際の為替レートを使用




## 2024年3月期の主なトピック

### 長期的かつ持続可能な成長を実現する4つの戦略的な価値の源泉



事業拡大と  
グローバル展開

#### EVIS X1の認可取得と販売地域拡大



インテリジェント  
内視鏡医療  
エコシステム

**FY2024 3Qに  
EVIS X1を導入した  
北米・中国が占める売上割合**

約50%

**日本・欧州・アジア・オセアニアが  
占める売上割合**

約50%


消化器内視鏡の  
地域別売上割合  
(FY2023通期)

<p><b>中国</b> 2023年11月 (FY2024 3Q)より販売開始</p> <p><b>北米</b> 2023年10月 (FY2024 3Q)より販売開始</p>	<p><b>日本</b> FY2021より販売開始</p> <p><b>欧州<sup>1</sup></b> FY2021より販売開始</p> <p><b>アジア・オセアニア<sup>2</sup></b> FY2021より販売開始</p>
---	--

\*1 一部CIS諸国を除く \*2 一部地域を除く  
注:掲載した製品やデバイスには、一部地域では未承認、未発売の技術が含まれている場合があります。


<https://www.olympus.co.jp/news/2023/nr02565.html>

[https://www.olympus.co.jp/ir/data/integratedreport/pdf/integrated\\_report\\_2023j\\_24.pdf](https://www.olympus.co.jp/ir/data/integratedreport/pdf/integrated_report_2023j_24.pdf)



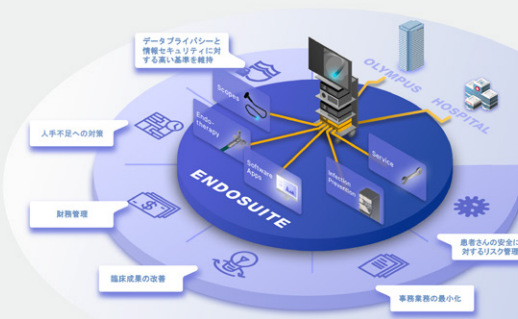
事業拡大と  
グローバル展開

#### インテリジェント内視鏡医療エコシステムへの投資を加速



インテリジェント  
内視鏡医療  
エコシステム

内視鏡医療のリーダーとして、内視鏡室のさまざまな課題解決に向けて、AIやデジタル技術を活用したインテリジェント内視鏡エコシステムを構築することで、臨床成果の向上や医療従事者の負担を軽減し内視鏡医療の未来を創成



[https://www.olympus.co.jp/ir/data/integratedreport/pdf/integrated\\_report\\_2023j\\_24.pdf](https://www.olympus.co.jp/ir/data/integratedreport/pdf/integrated_report_2023j_24.pdf)



戦略的M&A

#### 前立腺肥大症低侵襲治療デバイスiTind<sup>\*1</sup>の市場拡大に向けた取り組みを推進



ケア・パスウェイ  
の強化

BPH(前立腺肥大症)のケア・パスウェイ

早期発見

特性評価・診断・ステージ分類

治療

膀胱鏡
PLASMA+ Technology
SOLTIVE&EMPOWER

**iTind**



**臨床的利点**

- 前立腺肥大症の症状の早期改善に貢献
- 前立腺組織の切開や加熱が不要
- 永久的な器具の留置が不要
- 他の治療に伴う合併症を避けることに貢献

**患者さんのメリット**

- 性功能や排尿機能を維持したまま、不快なカテーテル留置の必要性を低減
- 入院の必要がなく簡単な処置で挿入できるため自宅で療養可能

**医療提供者のメリット**

- 2023年、米国CMS<sup>\*2</sup>はHOPD<sup>\*3</sup>またはASC<sup>\*4</sup>でiTind<sup>\*</sup>を使用した場合の保険適用を増額
- 代替治療と比較して、症例にかかる時間および費用の削減に貢献

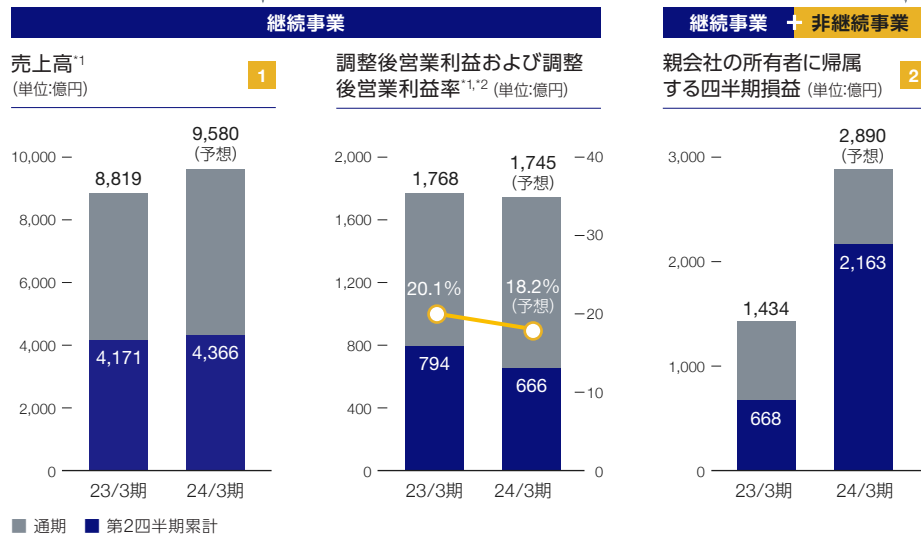
[https://www.olympus.co.jp/ir/data/integratedreport/pdf/integrated\\_report\\_2023j\\_22.pdf](https://www.olympus.co.jp/ir/data/integratedreport/pdf/integrated_report_2023j_22.pdf)

[https://www.olympus.co.jp/ir/data/integratedreport/pdf/integrated\\_report\\_2023j\\_23.pdf](https://www.olympus.co.jp/ir/data/integratedreport/pdf/integrated_report_2023j_23.pdf)

## 業績の推移

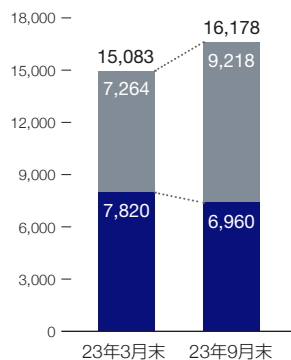
1 第2四半期累計では、連結で+5%成長

2 科学事業(エビデント)の譲渡に伴う譲渡益を計上し、過去最高の2,163億円、EPSは174円となる見通し

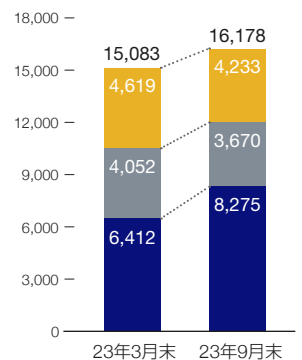


### 財政状態 (単位:億円)

#### 資産合計

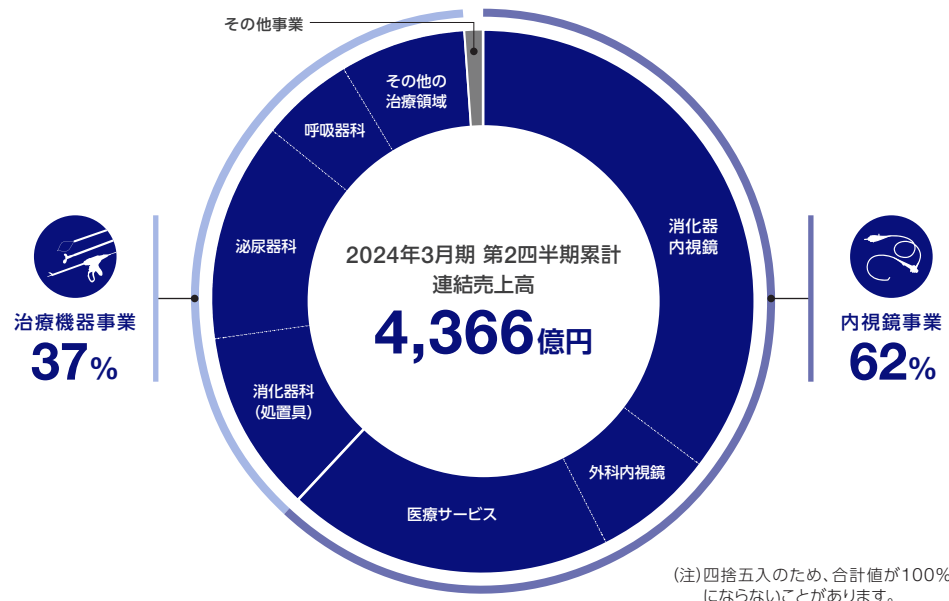


#### 負債・資本合計



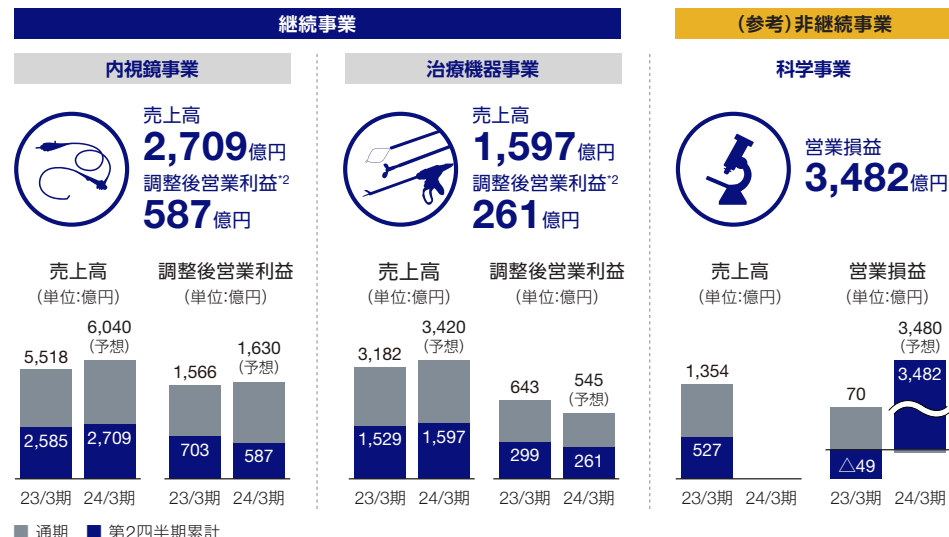
\*1 「売上高」と「調整後営業利益および調整後営業利益率」の数値は、継続事業の数値を記載しております  
\*2 調整後営業利益は営業利益から「その他の収益・その他の費用」を差し引いた数値を記載しております

## 事業別の概況



(注)四捨五入のため、合計値が100%にならないことがあります。

### 2024年3月期 第2四半期累計実績

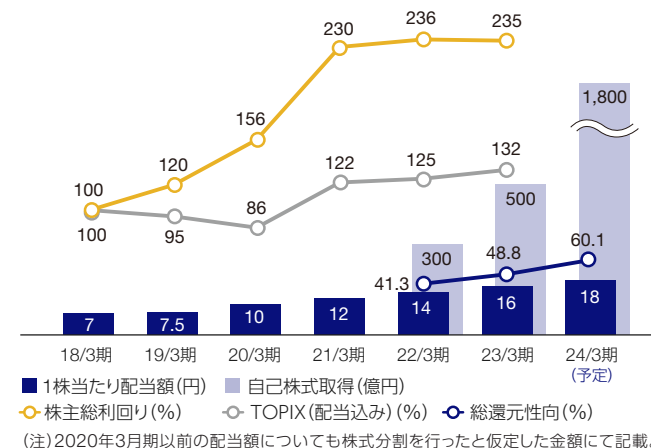


## 株主還元の方針

当社は、株主価値向上および、株主の皆さまのご期待に応えるため、下記の方針に基づき、キャピタルアロケーションを行っております。安定した財務基盤の確保を前提とし、成長領域への投資に優先的に活用した上で、安定的な株主還元を実施することを基本方針としています。今後もこれまでと同様に安定的かつ段階的な増配を目指し、運転資金および投資のための十分な手元流動性を確保した上で、余剰資金がある場合には、さらなる自己株式の取得を検討してまいります。なお、2024年3月期における自己株式の取得価額の総額予定は約1,800億円となります。今後もオリンパスの持続可能性を高めるとともに、株主の皆さまに最大限のリターンを提供することを念頭に、資本の配分を行ってまいります。



## 株主還元の推移



## 企業情報サイトのご案内

### 「サステナビリティ」

ガバナンス・社会・環境側面の詳細なデータを掲載しています



<https://www.olympus.co.jp/csr/>

### 「統合レポート2023」

経営戦略の進捗やオリンパスの目指す姿、コーポレートガバナンスの状況を解説しています



<https://www.olympus.co.jp/ir/data/integratedreport/2023.html?page=ir>

### 「オリンパスの医療分野」

当社医療分野の強みや基本的な知識を紹介しています



<https://www.olympus.co.jp/ir/data/medical.html?page=ir>

### 「おなかの健康ドットコム」

おなかに関わるさまざまな病気を紹介するとともに、がん検診制度や内視鏡検査について解説しています



<https://www.onaka-kenko.com/>

**OLYMPUS**

オリンパス株式会社 (証券コード:7733)

〒163-0914 東京都新宿区西新宿2丁目3番1号 新宿モノリス  
(03)3340-2111 (代表) <https://www.olympus.co.jp/>



TCFD

「JPXプライム150指数」に選出